

小樽南ロータリークラブ会報

1960年創立
昭和35年2月5日
2022年9月30日発行
通巻 第2982号

10

今週 9月30日(金)のプログラム
●卓話：地区RI委員 平川委員長

来週 10月 7日(金)のプログラム
●二木ワイナリーでの例会

再来週 10月14日(金)のプログラム
●休会 地区大会へ振替

Rotary
2022-2023年度IRテーマ
イマジン
ロータリー

2022-2023年度RI第2510地区目標
●クラブの将来像を打ち立てる
●より多くの会員の参加を得てクラブにおいて新たな事業に取り組む
●青少年への支援を発展・充実させる
●ICTも利用して交流の輪を広げる

地区クラブ奉仕委員会の目標
クラブの活性化のためのクラブに寄り添った活動!クラブが主体!

My Rotary
第2510地区ホームページ
ICT委員会Facebook
各委員会へのメール

●例会場：オーセントホテル小樽 ●例会日：毎週金曜日12時30分
●事務局：〒047-0032 小樽市稲穂2-15-1(オーセントホテル内) TEL:0134-27-8080
●Club Homepage: URL: http://rid2510.org/otarusouth/

■第10回例会報告(9月16日金) ●ガバナー公式訪問

■ロータリーソング【我らの生業】

■ゲストビジター紹介

第2510地区 ガバナー 石丸 修太郎氏
第2510地区 第6グループガバナー補佐 吉田 聡氏
第2510地区 地区幹事 川村 忠氏

■会長挨拶【山村会長】

【石丸ガバナー公式訪問例会】に多数の会員の皆様にご出席を頂きましてありがとうございます。
又石丸ガバナー・第6グループ吉田ガバナー補佐・川村地区幹事の皆様ようこそお出で下さいました。しかも第6グループのトップを切って当クラブをご訪問下さいまして感激に堪えません。全会員を代表致しまして心より感謝とご歓迎を申し上げます。ありがとうございます。
本日は10時より10時40分まで当クラブ正副会長幹事会計次期会長との8名による石丸ガバナー懇談会が開催されました。
クラブの実情等をご説明をし大変和やかな雰囲気の中で率直な討議を行いました。その後10時45分よりクラブ協議会を開催役員、理事、各委員長、SAAの活動計画の発表をしガバナーからの質疑応答最後に貴重な御講評を頂きました。
本日の例会プログラムは、ロータリーに思いを馳せるを地区テーマとした石丸ガバナーのご講演です。宜しくお願ひ申し上げます。(会長謝辞)
石丸ガバナー、ご講演誠にありがとうございました。内容詳細を整理致しまして当クラブの今後の活動に最大限活かして行く所存でございます。今後とも石丸ガバナーのご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。
石丸ガバナーにおかれましては、これからもご多忙な日が続くと思いますがお身体御自愛の上、益々ご健勝でご活躍なされることをご祈念致します。
本日は石丸ガバナー・吉田ガバナー補佐・川村地区幹事の皆様誠にありがとうございました。心から重ねてお礼を申し上げます。

■幹事報告

●9/30の食事は3階の入船になります。

■委員会・同好会報告

【秋の全国交通安全運動 9/21~30の10日間】
〈社会奉仕委員会 阿部委員長〉

9月21日(水)9時30分から、廣瀬会員(小樽市交通安全協会会長)、盛会員と3名で標記の一齐街頭啓発に参加しました。小樽駅前国道で迫小樽市長、本間小樽警察署長の挨拶後、関係団体約80名の参加者と共に、特に『夕暮れ時と夜間の高齢歩行者・自転車の事故防止等』を重点的にアピールしました。



【ゴルフ同好会】〈幹事 京谷 篤〉

9月24日に今年4回目のゴルフ同好会コンペが参加者13名で開催されました。当日、前半は雨の中のプレーとなりましたが後半は天気も回復し、ますますのゴルフ日和となり新会員の山本会員が優勝、準会員の平田氏が準優勝されました。
10月8日(土)、ゴルフ同好会の今年度最終コンペが小樽カントリー旧コースで7:30スタート、納会が当日18時から庄坊番屋で開催予定となっています。

■出席委員会

令和4年9月16日(金)
●会員総数 57名
●本日の欠席者 20名
浅村、荒田、石川、伊藤、工藤、斎田、佐藤(公)、佐藤(勉)、佐藤(雅)、斎藤(英)、地山、拝田、保知、堀内、前川、松尾、宮川、村越、山下、山本
●リモート出席 4名
桂、佐藤(友)
令和4年9月2日(金)
会員総数 57名 出席摘要免除者数 7名
ホーム欠席者数 19名 メーキャップ数 0名

ガバナー公式訪問



本日、ガバナー補佐吉田聡氏、地区幹事川村忠氏と3名で小樽南ロータリークラブを訪問させていただきました。
吉田さんとは、仕事から長い付き合いです。今年度、国際RC会長、初の女性ガバナーは、さわやかな緑色の服を着ていて、テーマをイマジンロータリーと掲げ、写真に写っております。
私達は何が出来るのかを想像してみませんか。ダイバーシティ、対応性、公平性、それらは企業での人材育成のためと、ロータリアンの皆様に進めているか、私はそれらを上手に説明出来ないし、彼女を理解することは難しい。
私はロータリーに入会した時「ロータリーは職業奉仕」と教わり納得していた。
職業奉仕ということをガバナーは理解しなければならないと思っている。
ロータリーは21世紀に入り、変わりました。職業奉仕、

よく考えたらRCの発足時の事を思うと何となく理解できます。
RCにはさまざまな業種の人があり、1事業1人なので色々な話が聞ける事が出来、自分の仕事の参考になる。
しかし、インターネットの時代になり、ロータリークラブに入っていないと、色々な情報が取得でき20世紀の姿はもうない。
情報交換があったからこそロータリーの価値があったが、今は変わった。
メンバーが持っている才能を利用したサービスを皆で共有する、それが会員卓話で、クラブでの会員の職業を知り、互いに情報を共有し、自分が人のために出来ることを皆で共有しなければRCは存続できない。
自分の持っている才能を使い、クラブで活動する。
今のRCでの1人1人の責務が大き過ぎるか各委員会の皆さんで考えて積極的に行動してほしい。
又、地区のH・Pを活用し、他のクラブの活動も参考にしてほしい。
国際奉仕、皆さんと一緒にやりましょう。
国際大会、国際親善にと参加し、体験してみてください。
この先も皆さんの活躍をお願いします。
本日はありがとうございました。



まごころ箱……いつも有難うございます!

- 石丸様…公式訪問。
- 吉田様…公式訪問。
- 川村様…公式訪問。
- 山村会員…石丸ガバナー、吉田ガバナー補佐、川村地区幹事様、本日は誠にありがとうございました。
- 松浦会員…石丸ガバナー、吉田ガバナー補佐、川村地区幹事、公式訪問大変ご苦労さまです。謹んで歓迎申し上げます。ご指導よろしくお願ひ致します。
- 三栖会員…ガバナー訪問、皆様ご苦労です。
- 濱本会員…小樽の子ども達の国語の学力が向上しました。(全国学力調査)音読アップ、ポエムコンクールが役立っています。南RCの一員としてうれしい限りです。
- 京谷会員…結婚祝ありがとうございました。お陰様で結婚40周年です。
- 佐藤(喜)会員…夫人誕生祝。

入金集計額 令和4.7.1~令和4.9.16 (24,500円) 合計 **365,000円**

クラブ協議会

クラブ奉仕委員会 担当理事 京谷 篤

この2年間、「クラブ奉仕に関連する活動」はコロナ禍の中、大きな制約を受けてきました。

今年度もこの問題が完全に解消された訳ではありませんが、ウィズコロナの観点から山村会長が設定したクラブ奉仕関連の活動方針では、①夜間例会の実施、②卓話の充実、③小人数での親睦集会の奨励、④夫人の会、各種村会等の開催など、会員相互の親睦を深める活動を充実させていくことなどを大きな柱として掲げています。

これから説明がありますクラブ奉仕に関する5つの委員会では、ただ今申し述べましたことも含め、また各委員会が連携・協力しながら活動していくこととしておりますので、ご理解ご協力ご支援の程よろしくお願いいたします。

例会運営委員会 委員長 湊 亨

今期、山村会長の方針に沿って以下の通りに委員会活動を進めてまいります。

①次年度、ガバナーになられます松浦ガバナーエレクトを中心とした今後の活動についての卓話の設営。

②当クラブ会員の皆様や多方面で活躍されている方を外部からお呼びしての卓話講師の選定と設営。

③まごころ箱、120万円の達成

9月11日9:00～16:45までRLI(ロータリーリーダーシップ研究会)を受講しました。

ロータリーに入会して9年経ちましたが、ロータリー財団のことなど分からないまま

ロータリー活動を行っていたことが改めて実感しました。

会員親睦委員会 委員長 林 正章

今期は、山村会長のお考えのもと、ここ数年コロナ禍のために開催できていなかった親睦プログラムを開催する予定です。8月19日には納涼夜間例会を開催いたしました。また、会員相互のさらなる親睦を図るべく、10月7日には移動夜間例会として仁木町にあるワイナリーで工場見学と食事をすることが決まっております。

ロータリークラブに対する考え・想い等

担当業務がある特定の会員に集中しており、その会員の負担が大きすぎるのではないかと考えています。負担を分散し、多くの会員が携わることで、これまで消極的であった会員も積極的に例会や会合に参加する環境をつくることも大切だと考えています。

会員組織委員会 委員長 小笠原 俊介

会員組織委員会は、会長方針に従い、クラブの地域特性を生かしながら、会員増強、ロータリー情報、職業分類、会員選考の4つの活動を行います。

特に会員増強と退会防止については、会員増強特別委員会と協力しながら当クラブにふさわしい候補者の選定と、候補者への事前ゲストスピーチのお願い、等々を通じて確実に入会していただけるよう図って参りたいと思います。また、いくら入会者を増やしても、片方で退会者が増えれば

純増になりませんので、同時に入会歴の浅い会員向け「退会防止親睦パーティ」開催などの適切な施策を講じていきたいと思ひます。

広報情報委員会 委員長 鈴木 崇史

①会報の発行は、従前のとおり例会の記録として正確に記録・記載することに努めます。情報の提供についてご協力をお願いします。また、前年度からの引継ぎとして、特定の委員に過度の負担がかからぬよう改善をしていきたいと考えています。

②ホームページ、FBの随時更新をし、クラブ内外に情報を発信いたします。

③ZOOMの運用について適切に対応します。

出席・退会防止委員会 委員長 大淵 勝敏

暫く振りですが、出席を取らせていただきます。

ロータリー会員としては、例会出席は、「義務」であります。

やむを得ず例会欠席の際はメーキャップを心掛けて下さい。1年間有効ですのでメーキャップした際は、申し出願います。

ZOOMでの例会参加もお願いします。

今期は、「家庭集会」を開催したいと思ひます。

奉仕委員会 担当理事 福島 正統

担当理事の職務は、職業・社会・国際・青少年奉仕の四つの委員会活動にあたり、求めに応じ相談にのりお手伝いさせていただきますことと理解をしております。

又ロータリーについては入会36年となりますが、入会して3年目1989年～1990年度当クラブより初谷真一ガバナーを輩出の折地区副幹事としてお手伝いさせていただきました。

当時多くの厳格な諸先輩の下で例会出席への意識も低く退会を考えた頃でしたが、地区副幹事の経験以来ロータリーへの興味も増し33年間メーキャップを含め皆出席を続けております。

「例会出席は健康のパロメーター」と位置づけ今後ともロータリーを楽しもうと思ひます。

ロータリー財団 担当理事 吹越 範義

ジョーンズRRI会長のイマジンロータリーは、「明日のロータリーを夢見て、それを実現させよう」ということと想っています。

ロゴに使われている3色

紫 ポリオ根絶…野性型の発症 アフガニスタン、パキスタン。あと一歩手の届くところで

緑 環境…新たに加わった重点分野。ロシアによるウクライナ侵襲。その他温暖化による豪雨と砂漠化。

白 平和…今日のリーダーを強化し明日のリーダーを育てる。

以上 ロータリー財団の役割は広範囲にわたり活動しなければなりません。覚悟をもって邁進して参ります。

職業奉仕委員会 委員長 村越 仁

職業奉仕とは、職業を通して社会のいろいろなニーズを満たすことを自己の責務として行い、それによって、自己の職業の品位と道徳水準を高め、社会から尊重される存在となることを目指すものです。

かかる職業奉仕の推進の一助となるよう、職場見学やその総括を交えた卓話の実施などを検討して参ります。

なお、本日のクラブ協議会に委員長村越は欠席いたしますが、これは、コロナ感染症対策の見地から、現在、あらゆる会合の出席を見合わせているためです。

社会奉仕委員会 委員長 阿部 誠

小樽最大の夏のイベント「第56回小樽潮まつり」に3年ぶりに参加しました。小樽RC、銭函RCとの合同ねり込み梯団で、久しぶりに市民の方々へのアピールが叶いました。

また、来年2月、冬の国際的なイベントともなった「小樽雪あかりの路」も無事開催され協賛はじめ参画できることを期待しています。

小樽市開催の「敬老の集い」は当クラブが長年に渡り協賛してきた事業ですが、参加者の減少から事業廃止となったのは大変残念なことでした。

国際奉仕委員会・米山記念奨学金委員会 委員長 岡崎 芳明

何故か私どものクラブは国際奉仕委員会と米山記念奨学金委員会が一緒です。これに関しましては受け口が小樽商科大学にいる海外からの留学生を念頭においての事と思われ

ます。今期の計画としましては、10月が米山月間ですから米山と国際奉仕委員会が担当する例会を持たなければなりませんので、10月21日の例会時に小樽商科大学 学生支援課 国際交流室 関 光洋 様にお話を伺う予定です。

米山記念奨学生としましては、米山記念奨学生の孔さんには既に卓話をお願いしました。また今年の潮祭りには国際奉仕委員の佐藤友美会員に補助をお願いし踊りに参加して貰いました。又夜間例会にも時折参加して貰っております。米山の寄付におきましては米山月間の10月に募集する予定です。金額的には前年度を下回らない様に努力したいと思っております。

ロータリー財団委員会 委員長 小林 英夫

1 当委員会の業務は3点あります

(1 点目) ポリオプラス基金への寄付 (一般会計からの予算措置・会員からの寄付)

・寄付の目標 (当クラブとして、会員1人当たり3千円 (クラブ17.4万円))

1) ポリオプラス

10月24日(日)の世界ポリオデーに併せて当クラブの例会で、ポリオプラス基金への寄付を依頼する。(一人当たり千円程度を目安)

ポリオデーに併せて、当クラブとして、その趣旨に沿った事業を実施。

2) 一般会計からの予算措置

会員からの寄付の不足分を充当する。

(2 点目) 年次基金への寄付の依頼

①目標

寄付実績ゼロ会員の解消

認証ゼロ会員の解消 (P.H.F)

②課題

寄付に対する会員の考え方も多種多様

寄付依頼の考え方の整理

寄付の目標額の設定

③具体的な取組

ア) 寄付実績ゼロ会員 (= 認証ゼロ会員) への依頼

・寄付への理解と、寄付に対する負担感の軽減

・認証の考え方の整理

1,000ポイント (1,000ドル)でP.H.Fの認証を受けられるが、過去には、2.3万円の寄付に当クラブ

或いは会員のポイント (700~800) を加算して認証した例があるが、認証の趣旨を踏まえると、認証の

ほぼ半分程度の5万円の寄付にポイントを加算することが妥当と考えられる。

・選択肢の一つとして、毎年1~2万円、2~3年寄付して認証を受ける。

イ) 前回寄付から年数が経過した会員への依頼

(3 点目) ロータリー財団委員会の取り組み理解の広報活動 国際ロータリー財団委員会の組織、取り組みの紹介

寄付と認証の仕組みを明らかにする事

※R財団奨学生のホストクラブと

なったのは初めてと聞いた。

松浦ガバナーノミニ一年度で、

「教育格差」に関する日本のリー

ダー人財養成に関われることに感謝したい。

留学生の横田佳祐さん北大生はス

イス、ドイツ2年間の留学で9月

上旬東欧予定。

SAA 委員長 濱本 進

SAAは会員個人に与えられた役職であり、クラブ内の委員会とは違い特定の目的を達成するための独自の事業はありません。SAAの基本的な役割は例会などの円滑な運営、進行を実現する事と理解しています。

現在、コロナ禍による影響で例会開会前に食事をする、学校形式での座席配置など変則的な例会を開催しています。

会員の親睦をより深めるための、例会時間内の食事、定期的な座席変更を行うのもSAAの役割ですが、残念ながら実現していません。早くコロナが収束することを願っています。

